

きゅうり登録農薬適用表(1) (殺菌)

野菜類登録の剤は別ページにまとめてあります。確認して使用してください。

登録内容2022年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		28	プレビクールN液剤	苗床・播種直後 本圃：定植直後および生育初期(収穫21日前まで) 播種時	3回以内	400倍(30L/m ²)	—	立枯性疫病	○	△	液剤	土壌灌注	プロバモカルブ塩酸塩	
								苗立枯病						
		P2	オリゼメート粒剤	定植時	1回	6~7.5kg(5g/株)	—	斑点細菌病	○	×	粒剤	植穴土壌混和	プロベナゾール	
		M5	ダコニール1000	播種時又は活着後 (定植14日後まで) 収穫前日まで	2回以内 12回以内	1,000倍(30L/m ²) 1,000倍(100~3000L)	— 100ml	苗立枯病(リゾクトニア菌) べと病、炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、黒星病、褐斑病	○	×	フロアブル	土壌灌注 散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意
		40、M5	プロボーズ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~3000L) 1,000倍(100~3000L)	100~67g 100g	べと病 褐斑病、黒星病、うどんこ病	○	○	顆粒水和剤	散布	TPN、 ベンチアハリカルブイブ「ロビド」	同成分剤の使用回数に注意 浸透性あり
		40、M1	フェスティバルC水和剤	収穫前日まで	3回以内	600~800倍(100~3000L)	167~125g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトルフ・塩基性塩化銅	
		M1	キノドーフフロアブル	収穫前日まで	5回以内	1,200~1,500倍(100~3000L) 1,200倍(100~3000L)	83~67ml 83ml	斑点細菌病 炭そ病、べと病	○	×	フロアブル	散布	有機銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~3000L)	200g	斑点細菌病、褐斑病、べと病、うどんこ病	○	×	水和剤	散布	ニルフェノールスルホン酸銅	
		M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内	500倍(100~3000L)	200ml	べと病、うどんこ病、コシラシ類、ハダニ類、アラムシ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内	1,000倍(100~3000L)	100g	斑点細菌病、うどんこ病、べと病	○	○	水和剤	散布	カスカマイシン、 塩基性塩化銅	耐雨性あり
		NC、M1	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	750~1,500倍(150~5000L) 1,000倍(150~5000L)	133~67g 100g	斑点細菌病 灰色かび病	○	×	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、 無水硫酸銅	
		3、M3	テーク水和剤	収穫前日まで	3回以内	600~800倍(100~3000L)	167~125g	うどんこ病、べと病、灰色かび病、褐斑病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	シモノゾール、マンゼブ	
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	3,000~5,000倍(100~3000L)	33~20g	うどんこ病、黒星病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	
		19	ポリオキシシAL水溶剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~3000L)	20g	うどんこ病、灰色かび病、ハダニ類、アザミウマ類	○	○	水溶剤	散布	ポリオキシシ複合体	
		19、M7	ポリベリン水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~3000L) 1,000~2,000倍(100~3000L)	100g 100~50g	灰色かび病、褐斑病、ハダニ類、アザミウマ類 うどんこ病	○	○	水和剤	散布	イミノタジシ酢酸塩、 ポリオキシシ複合体	同成分剤の使用回数に注意
		M7、17	ダイヤモンド	収穫前日まで	3回以内	1,500倍(150~3000L)	67g	うどんこ病、灰色かび病、菌核病	○	○	水和剤	散布	イミノタジシアルベシル酸塩、 ファンヘキサト	同成分剤の使用回数に注意
		M7	ベルクート水和剤	収穫前日まで	7回以内	2,000~4,000倍(100~3000L) 2,000倍(100~3000L)	50~25g 50g	うどんこ病、灰色かび病、炭疽病 褐斑病	○	△	水和剤	散布	イミノタジシアルベシル酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500~2,000倍(100~3000L)	67~50g	菌核病、灰色かび病、うどんこ病、黒星病、つる枯病、炭疽病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	浸透性あり
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	4回以内	1,000~1,500倍(100~3000L) 1,000倍(100~3000L)	100~67g 100g	灰色かび病 つる枯病、菌核病	○	△~○	水和剤	散布	イプロジオン	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫前日まで	3回以内	400倍~800倍(100~3000L)	250~125g	べと病	○	○	水和剤	散布	ホセテル	浸透移行性あり
		7	アフエツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~3000L)	50ml	菌核病、灰色かび病、うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラド	
		7	ハレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~3000L) 2,000倍(100~3000L)	50~25ml 50ml	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病 つる枯病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド	浸透性、耐雨性あり
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,500~2,000倍(100~3000L) 1,500倍(100~3000L) 2,000倍(100~3000L)	67~50ml 67ml 50ml	うどんこ病、べと病 灰色かび病、菌核病 褐斑病、炭疽病	○	△	フロアブル	散布	アゾキシトロピド	褐斑病の耐性出始め、 薬害注意 浸透性、耐雨性あり
		11	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍(100~3000L)	33ml	うどんこ病、べと病、褐斑病、炭疽病	○	△	フロアブル	散布	クレシキムメチル	褐斑病の耐性出始め、 薬害注意
		11、27	ホライズンドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,500倍(150~3000L)	40ml	べと病	○	○	ドライフロアブル	散布	シモキサリル、ファンヘキサト	耐雨性あり
		12	セイビアフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~3000L)	100~67ml	菌核病、灰色かび病、褐斑病(1,000倍)	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル	
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000~2,000倍(150~3000L)	100~50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		9	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000~3,000倍(100~3000L)	50~33ml	灰色かび病、うどんこ病、褐斑病	○	×~△	フロアブル	散布	メバニリム	同成分剤の使用回数に注意
		9、U13	ショウチノスケフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~3000L)	50ml	うどんこ病、灰色かび病	○	×	フロアブル	散布	フルチアニル、メバニリム	同成分剤の使用回数に注意
		U17	ピシロックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~3000L)	100ml	べと病	○	×	フロアブル	散布	ピカルブトラゾクス	浸透性あり
ワクチン剤	—	キュービオZY-02	穂木の子葉完全展開期 又は接木苗の第1本葉 完全展開期	1回	25倍	—	スッキーニ黄斑モザイクウイルスの感染によるモザイク症及び萎凋症	○	×	水溶剤	有傷接種	スッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株		

きゅうり登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2022年9月1日現在

用途	劇毒	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	床土1回以内	〈床土・堆肥〉3~5ml/穴	—	つる割病、疫病、白絹病、ウラ、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、センチュウ類、一年生雑草、苗立枯病、ホモブシス根腐病(3ml/穴)	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
					圃場1回以内									

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前又は定植前	1回	15~20kg	—	ネコセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
		1B	ネマキック粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコセンチュウ	遅	長	粒剤	全面土壌混和	イミシアホス		
		1B	ネマキック液剤	生育期但し、収穫前日まで	1回	4,000倍(2ℓ/m ²)	—	ネコセンチュウ	遅	長	液剤	土壌灌注	イミシアホス		
		1B	ラグビーMC粒剤	定植前	1回	20~30kg	—	ネコセンチュウ	—	—	マイクロカプセル	全面処理土壌混和	カズサホス		
		4A	ダントツ粒剤	定植時	1回	農業総使用回数、合わせて4回以内	2g/株	—	ミナキイロアザミウマ	中	長	粒剤	植穴処理土壌混和	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
	1~2g/株			—			アブラムシ類、コナジラミ類								
	1~2g/株			—			アブラムシ類、コナジラミ類、ミナキイロアザミウマ								
	1~2g/株			—			アブラムシ類								
		4A	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナキイロアザミウマ、カメムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意	
		4A	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内		3,000倍(100~300ℓ)	33g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアマトキサム	
	2,000倍(100~300ℓ)						50g	ミナキイロアザミウマ							
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内		2,000倍(100~300ℓ)	50g	アザミウマ類、ウリハムシ、カメムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	ジノテフラン	
	2,000~3,000倍(100~300ℓ)						50~33g	アブラムシ類、コナジラミ類							
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内		1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル	
	2,000倍(100~300ℓ)						50ml	アブラムシ類							
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25g	アブラムシ類、アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	2,000倍(100~300ℓ)						50g	コナジラミ類、ウリノメイガ							
	4,000倍(100~300ℓ)						25g	ウリハムシ							
		28	ブリロン粒剤オメガ	育苗期後半~定植当日	1回	2g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリハエ類			粒剤	株元散布	シアントラニリプロール		
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリハエ類、ウリノメイガ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール	銅剤との混用は注意	
	28	ブレバソフフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回		100~200倍(25ml/株)	—	ハモグリハエ類	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール		
200倍(50ml/株)			—												
	28	ヨーバルフロアブル	育苗期後半~定植当日	1回		200倍(25ml/株)	—	ハモグリハエ類、アブラムシ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	灌注	テトラニリプロール		
2,500~5,000倍(100~300ℓ)			40~20ml			ハモグリハエ類、アブラムシ類									
	28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内		2,500倍	40ml	コナジラミ類、アザミウマ類	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド		
2,000~4,000倍(100~300ℓ)						50~25g	ウリノメイガ、ハモグリハエ類								
	3A	トレボン乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	アブラムシ類、コナジラミ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス			
	劇	3A	マブリック水和剤20	収穫前日まで	2回以内	4,000倍	25g	アブラムシ類、オシロイソトシジミ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート		

↓「殺虫剤」次ページに続きあり

きゅうり登録農薬適用表(3) (殺虫・除草)

登録内容は2022年9月1日現在

用途	劇毒	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺 虫 剤		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	ハモグリハエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g) 2,500倍(100~300g)	40~20ml 40ml	アザミウマ類、ハモグリハエ類、ウリノメイガ コナジラミ類	早	中	フロアブル	散布	スピトラム		
	劇	6	アグリメック	収穫前日まで	2回以内	500~1,000倍(100~300g)	200~100ml	アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	ダニ殺卵効果× 浸透性、耐雨性あり	
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000~1,500倍(100~300g) 1,000倍(100~300g) 1,500倍(100~300g)	100~67ml 100ml 67ml	ハダニ類 ハモグリハエ類 コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン		
		6	アフアーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	農業総使用回数、 合せて2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、ウリノメイガ、ハスモンヨトウ、ハモグリハエ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		6、15	アフアームエクセラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67ml	ミナキイロアザミウマ、ウリノメイガ	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、 ルフエヌロン	同成分剤の使用回数に注意 浸透性	
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25ml 50ml	ミナキイロアザミウマ ウリノメイガ、トマトハモグリハエ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	コナジラミ類、アブラムシ類	中	中	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
		9B	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類、コナジラミ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	ピメトロジン	浸透性あり	
		10B	バロックフロアブル	収穫前日まで	1回	2,000倍(100~350g)	50ml	ハダニ類	遅	長	フロアブル	散布	エトキサゾール	成虫効果×	
		10A	ニツソラン水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~3,000倍(100~300g)	50~33g	ハダニ類	遅	長	水和剤	散布	ヘキシチアゾクス	成虫効果×	
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ウリノメイガ、ミカンキイロアザミウマ、ミナキイロアザミウマ	速	中	フロアブル	散布	クロルフエナビル		
		20B	カネマイトフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000~1,500倍(150~300g)	100~67ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	アセキノシル		
		20A	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類	中	中	フロアブル	散布	ビフェゼート	殺卵効果△	
	劇	21A	サンマイトフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~1,500倍(100~300g)	100~67ml	うどんこ病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	散布	ピリダベン	成虫効果△	
	劇	21A	ピラニカEW	収穫前日まで	1回	2,000~3,000倍(150~300g) 2,000倍(150~300g)	50~33ml 50ml	ハダニ類 アブラムシ類	速	長	乳剤	散布	テブフェンピラド		
	劇	21A、 FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g) 1,000倍(100~300g)	100~50ml 100ml	ウリノメイガ、アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類 うどんこ病、べと病、褐斑病	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド		
		23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類	遅	長	フロアブル	散布	スピロトラマト		
		25A	スターマイトフロアブル	収穫前日まで	1回	2,000倍(100~300g)	50ml	ハダニ類	速	長	フロアブル	散布	シエピラフェン		
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50g	アブラムシ類 コナジラミ類	遅	長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	浸透性、耐雨性あり	
		30	グレーシア乳剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、ハスモンヨトウ、ウリノメイガ、コナジラミ類	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	浸透性、耐雨性あり	
	UN	ブレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	ハモグリハエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル	耐雨性あり		

◆削除農薬(令和4年度中に使用下さい):「アペイル粒剤」

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
土壌処理 除草剤		クレマート乳剤	定植前(雑草発生前)	200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタモホス	